

令和6年度 校内研究構想図

令和6年度 板橋区立新河岸小学校 「読み解く力」を育成する指導の工夫 ～聞きたい!読みたい!と思える学習活動～」

学校教育目標

よく考える子ども ねばり強く取り組む子ども 仲よく助け合う子ども 明るく元気な子ども

社会的背景より

- ・少子高齢化による生産年齢人口の減少
- ・人工知能（AI）の飛躍的進化等によるグローバル化の進展と絶え間ない技術革新
- ・「生きる力」を育むための「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進【現行学習指導要領より】

板橋区の教育課題

- ・「板橋区授業スタンダード」の徹底（めあてや協働的な学びの大切さ）
- ・「読み解く力」の育成（INPUT THINK OUTPUT）
- ・「一人一台端末」の活用（個別最適な学び 協働的な学び）
- ・「総合的な学習の時間」の充実（SDG s STEAM GIGA）

児童の実態

○どの学年にも、文章をよく読まなかったり、文章の意味を捉えられなかったりする児童がいる。

- ・問題や質問の意味が分からず、無回答が多い。
- ・指示語が指している単語や文が分からない。
- ・資料から必要な情報を取り出すことが苦手。
- ・学年に応じた言葉の理解が難しい児童が多く、分からなくてもそのままにしてしまう児童が多い。

教師の願い

- ・文字、文章を単なる音として捉えるのではなく、意味を理解しながら読めるようになってほしい。
- ・言葉のもつ良さを感じ、豊富な語彙を獲得してほしい。
- ・文章に対する苦手意識を無くしてほしい。

研究主題

「読み解く力」を育成する指導の工夫

～聞きたい!読みたい!と思える学習活動～

<目指す児童像>

- 低 興味関心をもち、自分ごととして友達や先生の話の聞いたり、すすんで文章を読んだりすることができる児童
- 中 聞いたり、読んだりしたことから、中心となる言葉や文をそれぞれ関連付けて捉え、表現することができる児童
- 高 言葉のイメージを膨らませて楽しく聞いたり読んだりすることができ、学習したことを実際の生活にも取り入れようとする児童

研究の内容・方法

【語彙力をつけるために】

- ・国語の物語文の授業を中心に
- ・朝学習
- ・レベルアップタイム
- ・お助けマンシート（今年度は全員に配布予定）
- ・読み聞かせ
- ・音読
- （・話を聞くときのサイン、反応例など）

【評価、変容の見取り】

- ・診断テスト
- ・単元前テスト
- （・単元前と後のアンケート比較など）